

16th CSJ Chemistry Festa

参加募集

日本化学会秋季事業 第16回 CSJ化学フェスタ2026

日本化学会秋季事業 第16回 CSJ化学フェスタ2026を、10月20日(火)～22日(木)の日程で東京都江戸川区タワーホール船堀にて開催します。今回も驚きの企画、参加してよかったと思っただけの企画が目白押しです。皆様お誘いあわせのうえ、奮ってご参加下さい。

フェスタ企画

有料

テーマ企画

化学は様々な分野で科学技術の発展を牽引し、未来社会に向けたイノベーションの主力を担っています。テーマ企画では、多様な分野で新たな価値を生み出している化学技術や化学素材など化学に関わる研究開発の最前線から、化学の将来を担う学生に向けたチュートリアルまで、多岐にわたる多くの魅力的なテーマを企画しています。

- ① 新しい電池のカギをつかめ！～セカイが広がる新技術～
- ② CO₂変換触媒と資源化が切り拓くカーボンニュートラル社会
- ③ パワーデバイス材料の最前線～高効率システムを支えるテクノロジー～
- ④ 速く、無駄なく、その先へ！～高効率プロセスが拓く持続可能なものづくり～
- ⑤ AI時代のデータセンターを支える材料技術～電力・熱・高周波マネジメントの最前線～
- ⑥ さよなら「勘と経験」！～AIが導く次世代化学のショートカット術～
- ⑦ ナノ空間で操るイオンの流れ～空間構造と次元制御が拓くイオニクス・エネルギー変換材料の最前線～
- ⑧ 「くっつく力とはがす知恵」～革新的な接着材料の最前線～
- ⑨ 分散・界面設計が創る新素材プロセスの未来～粒子輸送・構造形成・ナノ分散材料～
- ⑩ π 電子たちの大冒険！～ナノカーボンと有機半導体が描くエレクトロデバイス革新～
- ⑪ こんなところにも液晶が！～「結晶」と「液体」のあいだに潜む魅惑の新素材～
- ⑫ バイオ×ケミストリーが拓く次世代ものづくり～嗅覚センサによるものづくり～
- ⑬ バイオ×ケミストリーが拓く次世代ものづくり～分子を駆使して細胞・生命体を創る・操作する～
- ⑭ バイオ×ケミストリーが拓く次世代ものづくり～バイオのチカラによる化学品製造の最前線を追う～
- ⑮ 人生は自分で切り開くぞ！博士取得後のキャリアプラン
- ⑯ 英語で発表しよう！博士課程学生オーラルセッション
English Oral Presentation Session for PhD Students
- ⑰ 化学のプレゼンに役立つKNOW-HOW
- ⑱ はじめてみようデータ駆動型の研究
- ⑲ これは考えもしなかったね！新反応からつながるこんな新分子～新材料～そして新医療技術
- ⑳ 半導体をつくる「見えない分子」：プロセス材料最前線
- ㉑ 界面を操る：くっつかない・はがす・すべらせるが生む表面機能化学
- ㉒ 守る・診る・直す！～インフラ防災を支える材料と技術～
- ㉓ 生命のダイナミクスを工学へ～動的バイオメテックス材料の最前線～

産学官R&D紹介企画

産学官の諸機関の研究開発アクティビティを紹介します。
参加機関の様々なアピールを見て、聴いて、お楽しみ下さい。
●R&D展示ブース ●ランチタイムセッション(講演)

学生ポスター発表

3日間で約950件のポスター発表が行われます。いずれのポスターでも産学官の研究者と学生の熱いディスカッションが繰り広げられ、今回も優秀な発表に対してポスター発表賞が授与されます。

公開企画

無料

公開講座

- イグノーベル賞から見る化学

2026ノーベル賞解説講演

今年のノーベル賞の内容を分かり易く解説します。

コラボレーション企画

各機関からの情報発信により産学官の交流深掘、連携促進の一助とすることを目的として、コラボレーション企画を実施します。どの企画も参加者にとって興味深く有益な情報が得られる場ですので、積極的にご参加下さい。

- ①三井化学特別企画：
触媒科学フォーラム～触媒科学最前線～
- ②文部科学省「データ創出・活用型マテリアル研究開発プロジェクト京都大学拠点」・「学術変革領域研究(A)精密高分子のデータ・進化工学による次世代医薬創出」合同企画 特別企画：
データサイエンス・AI駆動による高分子材料・医薬開発の最新動向
- ③新化学技術推進協会特別企画：
Green and Sustainable Chemistry(GSC)とCircular Economy (CE)の実現に向けて
- ④産業技術総合研究所特別企画：
生物 × 化学プロセス連携が拓く次世代ものづくり
- ⑤研究基盤・先端機器がつかなく地域中核大学の研究基盤強化
～地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS)が拓く研究の未来～
- ⑥新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)特別企画：
化学研究を社会実装へつなぐNEDOの役割と支援事業

参加登録のご案内 <https://festa.csj.jp/2026/>

CSJ化学フェスタで実施する企画へ参加される方には
有料・無料に関わらず参加登録をお願いしています。ウェブサイトよりお申込み下さい。

早期申込期間	8月3日～9月9日	通常申込期間	10月1日～会期当日
プログラム公開	8月3日	Web予稿集公開	9月24日

フェスタ企画参加費 ※参加費はすべて税込価格です。

参加区分	正会員 ¹⁾	非会員	学生会員	非会員学生	ポスター審査員 ²⁾	プログラム集(冊子版)
早期	18,000円	30,000円	6,000円	8,000円	14,000円	2,500円
通常	21,000円	33,000円	8,000円	9,000円	14,000円	購入不可

- ¹⁾個人正会員・教育会員・シニア会員および法人正会員企業に所属する方が対象です。
²⁾ポスター審査員の方について、審査日に限定して当日開催される企画に無料でご参加いただけます。
審査日以外の日程に参加される場合、参加登録をお願い致します。
³⁾通常申込期間のお支払い方法はクレジットカードのみとなります。
⁴⁾参加費の課税区分は全て課税です。

2026/10/20(Tue.)-22(Thu.)

会場 | 東京都江戸川区タワーホール船堀
(東京都江戸川区船堀4-1-1)

主催 | 公益社団法人日本化学会

後援 | 文部科学省 / 独立行政法人国立科学博物館 / 国立研究開発法人科学技術振興機構 / 一般社団法人日本化学工業協会 / 公益社団法人新化学技術推進協会 / 国立研究開発法人産業技術総合研究所 / 国立研究開発法人理化学研究所 / 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 / 国立研究開発法人物質・材料研究機構 / 江戸川区

10月20日(火)

フェスタ企画…有料

公開企画…無料

※有料・無料に関わらず参加登録が必要です。

	会場	09	10	11	12	13	14	15	16	17
5F	A会場 [小ホール]		10:30-10:40 開会式	10:40-12:00 2026ノーベル賞 解説講演 本年度のノーベル賞の内容を、 分かり易く解説する講演 会を実施いたします。		13:30-17:30 三井化学特別企画：触媒科学フォーラム ～触媒科学最前線～ 三井化学は「地球環境と調和の中で、材料・物質の変革と創 出を通じて広く社会に貢献することを目指しており、ものづ くりの基盤技術である触媒科学の発展に向けて本フォーラ ムを開催します。本セッションでは、触媒科学の第一線でご 活躍の先生方による講演と、本年の三井化学触媒科学賞受 賞者による最先端の触媒技術の紹介を予定しています。				
4F	B会場 [研修室]									
3F	C会場 [蓬莱]		10:00-18:00 これは考えもしなかったね！ 新反応からつないだ新分子～新材料～そして新医療技術 最近の有機合成化学は想像以上に進化しています。よこれまでは考えもしなかった新反応が開発され、ここから私 達の未来社会を創る新材料や画期的な医療診断技術が開拓されているんです。本セッションでは、これを実現し た12人の講師にそのきっかけとコツ、そして有機合成化学の将来像を伺いましょう。							
2F	D会場 [瑞雲]		9:40-12:00 CO ₂ 変換触媒と資源化が切り拓く カーボンニュートラル社会 カーボンニュートラル社会の実現に向け、産学で進展 するCO ₂ 変換・資源化技術に着目し、化学の中核である 触媒に焦点を当てたセッションを企画しました。産学の講 演者を招き、最先端研究の成果とその社会実装の可能性 について議論します。最新動向の共有と課題整理を通じ 、今後の研究開発の方向性を明確化したいと考えます。		13:30-17:20 AI時代のデータセンターを支える材料技術 ～電力・熱・高周波マネジメントの最前線～ 本セッションでは、近年急速に拡大するデータセン ターの課題の中でも電力・熱・高周波のマネジメントに 関するものに注目します。これらの課題に挑み、次世代 データセンターの効率化に貢献する研究・技術動向 を紹介します。					
			12:15-13:05 日本ゼオン株式会社ランチャイムセッション ～つながって起こそうカガク変化を～							
1F	E会場 [平安]		9:30-12:00 ナノ空間で操るイオンの流れ ～空間構造と次元制御が拓くイオニクス・ エネルギー変換材料の最前線～ ナノ空間や低次元構造におけるイオン輸送は、従来のバルク 材料とは異なる特異なダイナミクスを示し、エネルギー変換・ 貯蔵デバイをはじめとする幅広い機能材料への応用が期 待されています。本セッションでは、多孔体、層状材料等の 多様な材料系を対象に、空間構造や次元制御がもたらすイ オン輸送や界面現象を徹底的に議論します。		13:30-17:15 「くっつく力とはがす知恵」 ～革新的な接着材料の最前線～ 「接着」は、材料をつなぎ新しい構造や機能を生み出 します。本セッションでは、接着界面の基礎から、生 体接着や高解性接着剤などの革新的な接着材料を紹 介します。さらに産業応用の事例も取り上げ、「くっつ く」と「はがす」を自在に操る接着材料の最前線を探 ります。					
			12:15-13:05 東レ株式会社ランチャイムセッション ～東レの研究開発のご紹介～							
F会場 [福寿]	F会場 [福寿]		9:30-12:00 半導体をつくる「見えない分子」： プロセス材料最前線 半導体はAIやデジタル社会を支える基盤技術であり、 その高性能化は社会の発展に直結しています。この進 歩を支えているのは、微細化を実現する製造プロセス を担う「見えない分子」です。本セッションでは、シリ コン、フラット、エッチング、平坦化(CMP)、パッケー ジングにおけるプロセス材料の最前線を紹介しまし ます。		13:30-17:00 バイオ×ケミストリーが拓く次世代ものづくり ～嗅覚センサによるものづくり～ においては五感の中でも定量化が困難であり、最後 のフロンティアと称されています。最近、バイオと化学 の力により、嗅覚センサの研究が進み、新しいものづ くり、サービスの提供が社会実装されつつあります。本 セッションでは、嗅覚センサ開発を支える基盤技術と 応用について、化学の側面から最新のトレンドを紹介 します。					
			12:15-13:05 Royal Society of Chemistryランチャイムセッション ～研究におけるAIの活用とは～							
G会場 [桃源]	G会場 [桃源]		9:30-12:00 人生は自分で切り開くぞ！ 博士取得後のキャリアプラン 本セッションでは、博士号を取得するとはが違ってくるのか、またど のような人生が待っているのかを、産学官の第一線で活躍 しているベテラン・若手研究者の方々に講演していただき ます。講演を通じて、学生の皆さんが「自分が活躍する将来 像」を具体的にイメージできるようにアドバイスをいたします。		13:30-17:00 文部科学省「データ創出・活用型マテリアル研究開発プロ ジェクト京都大学拠点」・「学術基盤領域研究(A) 精密高 分子のデータ・進化工学による次世代医療創出」合同企画 特別企画：データサイエンス・AI駆動による高分子材料・医 療開発の最新動向 カーボンニュートラル社会、Society 5.0、デジタルトランスフォーメーション、そしてWeb3.0社会 を実現するためには最先端材料は欠かせない要素の一つです。本セッションでは、データ 創出・活用型DX推進を推進する上により、革新的な材料・物質を生み出す高分子材料・医療 分野の最新動向を紹介いたします。さらに、産学官連携によるデータ駆動型材料開発の最新動向 について議論いたします。					
産学官R&D 展示会場 [展示ホール]	産学官R&D 展示会場 [展示ホール]		10:00-18:00 産学官R&D紹介企画・展示ブース 企業や研究機関がポスターや製品サンプル・モデルの展示などで研究開発アクティビティを個性豊かに紹介します。 進化化学(株)、大阪有機化学工業(株)、花王(株)、(株)ADEKA、(株)深田化学研究所、(株)クラレ、(株)クレハ、(株)島津製作所、 (株)豊田中央研究所、(株)日本触媒、JSR(株)、四国化成工業(株)、住友ベークライト(株)、田岡化学(株)、DIC(株)、東人(株)、デンプク(株)、 東空化成(株)、東ソー(株)、東洋硝子(株)、東レ(株)、日理ユニバーサル(株)、日産化学(株)、日本ゼオン(株)、北炭化学工業(株)、 三井化学(株)、三菱化学工業(株)、三菱ケミカル(株)、文部科学省 マテリアル先駆者サテライトプラザ、UBE(株)、ライオン(株)							
1F	ポスター 会場		10:00-12:00 学生ポスター発表:P1 物理化学[001-015]、無機化学・触媒化学・分析化学[016-035]、有機化学[036-054]、 天然物化学・生体機能関連化学・バイオテクノロジー[055-069]、高分子化学[070-089]、 材料化学[090-107]		13:30-15:30 学生ポスター発表:P2 無機化学・触媒化学・分析化学[001-020]、 有機化学[021-040]、固体・有機金属化学 [041-054]、天然物化学・生体機能関連化学・ バイオテクノロジー[055-069]、高分子化学 [070-088]、材料化学[089-107]		16:00-18:00 学生ポスター発表:P3 無機化学・触媒化学・分析化学[001-020]、 有機化学[021-042]、固体・有機金属化学 [043-057]、天然物化学・生体機能関連化学・ バイオテクノロジー[058-071]、高分子化学 [072-088]、材料化学[089-107]			
09	10	11	12	13	14	15	16	17		

10:30-10:40	開会の挨拶 森川 宏平(日本化学会・会長・株式会社レノ・ナック・ホールディングス・取締役 取締役会議長) 加藤 隆文(化学フェスタ実行委員会・委員長・信州大学・特任教授/岡山大学・特任教授 東京大学・名誉教授)
13:30-13:40	開会挨拶 坂本 晃大(三井化学株式会社・執行役員 技術戦略部長)
13:40-14:20	[三井化学 触媒科学賞 受賞講演]Simplifying Synthesis Through Catalytic Radical Cross-Coupling Phil S. Baran (Scripps Research・Professor)
14:20-15:00	[招待講演]Organocatalysis in Efficient Synthesis 林 雄二郎(東北大学 大学院工学研究科・教授)
15:10-15:50	[三井化学 触媒科学賞受賞 受賞講演]Heterogeneous Electrocatalysis from Carbon Dioxide, Nitrogen, and Water Feedstocks Karthikeyan Manthiram (California Institute of Technology・Professor)
15:50-16:30	[三井化学 触媒科学賞受賞 受賞講演]Strategies for Stereoselective Radical-Mediated Carbon-Carbon Bond Formation Yang Yang (University of California, Santa Barbara・Associate Professor)
16:30-17:10	[招待講演]Nanocatalysts for a low-carbon society: upgrading chemicals through hydrogenation 山内 美穂(九州大学 先端物質化学研究所・教授/東北大学 材料科学高等研究所・教授)
17:10-17:20	三井化学 触媒科学賞・触媒科学奨励賞 授賞式
17:20-17:30	閉会挨拶 市村 聡(三井化学株式会社・代表取締役社長)
10:00-10:05	開会挨拶 田中 克典(理学部 開拓研究本部・主任研究員)
10:05-10:10	化学反応と元素の潜在能力を最大限に引き出す触媒! 齋藤 守(大阪大学 大学院工学研究科・教授)
10:10-10:15	え、計算機がこんな反応や分子を作っちゃう? 中島 誠也(東京大学 大学院薬学系研究科・准教授)
11:05-11:10	あれ?混ぜるとこんなことができちゃう? 久保田 浩司(北海道大学 工学部・教授)
11:30-12:00	光やイオンの刺激で材料を作って機能を操ろう! 正井 宏(東京大学 大学院工学系研究科・准教授)
13:30-14:00	有機合成化学でちょっと、もっと光らせよう! 高 秀雄(ユニバース株式会社 技術開発本部・シニアエキスパート)
14:00-14:30	化学反応で変わった、治った、自己意識を持つ材料? 大塚 英孝(東京科学大学 物質理工学院・教授)
14:30-15:00	有機合成化学で人工的な生体を作り上げよう! 北澤 宏亮(同志社大学 理工学部・教授)
15:15-15:45	考えもしなかった新分子をどうやって医療に使う?その手帳とノウハウ 山本 恵香(株式会社Flo Bio・代表取締役)
15:45-16:10	人工核酸分子で未知な遺伝子のバロメータを引き出そう! 西宮 未来(京都大学 化学研究所・教授)
16:10-16:40	合成して手にとりて初めてわかる天然物模倣の偉大な機能 真鍋 良幸(大阪大学 大学院基礎工学研究科・教授)
16:55-17:25	あ、いよいよ落ちたね、最後の超天然物の有機合成化学! 伊藤 雄太(東京科学大学 生命理工学院・准教授)
17:25-17:55	天然有機化合物に変わって開けよう!バイオプラットフォーム! 齋藤 寛(東京大学 大学院薬学系研究科・准教授)
17:55-18:00	閉会挨拶 池本 晃寛(東京大学 大学院理学系研究科・准教授)
09:40-09:45	開会挨拶 小柳 研一(早稲田大学 理工学術院・教授)
09:45-10:15	CCUSに開く分岐ポイント：触媒プロセス 松方 正彦(早稲田大学 理工学術院・教授)
10:15-10:45	電気化学的CO ₂ 資源化技術～現状を認識し、将来性を考える～ 中西 周次(大阪大学 太陽エネルギー化学研究センター・教授)
10:55-11:25	グリーンメタノールを原料とするポリオレフィン原料の製造 高瀬 源三(三菱ケミカル株式会社 TPF企画・推進室)
11:25-11:55	安定化炭酸脱水素を利用したCO ₂ 変換技術 谷口 直博(東ソー株式会社 ライフサイエンス研究所・副主任研究員)
11:55-12:00	閉会挨拶 石渡 拓己(新エネルギー 産業技術総合開発機構 バイオ・材料部・主査)
13:30-13:35	開会挨拶 福岡 啓志(光興産業株式会社 技術戦略部長)
13:35-14:10	光と電気との融合がもたらす次世代IT技術 高 嘉(産業総合研究所 光電融合研究センター・上級主任研究員)
14:10-14:45	電気光学ポリマーが拓く高効率高速光変調器 横山 士吉(九州大学 先端物質化学研究所・教授)
14:45-15:20	超高速無線通信を支える高耐熱・低誘電損失ポリマー材料 安藤 慎治(東京科学大学・名誉教授/研究員)
15:30-16:05	低誘電性と熱安定性を兼ね備えた高周波誘電体材料 小柳 研一(早稲田大学 先進理工学部・教授)
16:05-16:40	電子機器の熱問題を解決!高熱放射ポリマー材料 上利 泰幸(一般社団法人大阪工研協会・常務理事)
16:40-17:15	データセンター高速化を支える電波対称性ポリマーの機能化処方 佐田 正年(一般社団法人難燃材料研究会・理事/副会長)
17:15-17:20	閉会挨拶 山口 和也(東京大学 大学院工学研究科・教授)
09:30-09:35	開会挨拶 林 文隆(信州大学 工学部・准教授)
09:35-10:10	MOFが拓く中温プロトン伝導 堀 恒史(京都大学 大学院理学研究科・教授)
10:10-10:45	クラスター・多孔体が拓くプロトン伝導・固体酸触媒 内田 さやか(東京大学 大学院総合文化研究科・教授)
10:45-11:20	無機ナノシートが拓く次世代バイオラ膜 山本 環祐(名古屋大学 未来材料・システム研究所・助教)
11:20-11:55	複合アニオン化合物が拓くヒドロゲル伝導 小林 玄器(理学部 開拓研究本部・主任研究員)
11:55-12:00	閉会挨拶 北島 拓成(ENEOS株式会社 中央技術研究所・担当マネージャー)
13:30-13:35	開会挨拶 中村 修一(名古屋工業大学 大学院工学研究科・教授)
13:35-14:35	[基調講演]接着界面の化学～基礎理解から革新的な接着技術へ～ 田中 敬二(九州大学 大学院工学研究科・教授)
14:35-15:10	ムール貝模倣で実現する「能く通ってやさしく割れる」生体界面接着 阿部 博彰(東北大学 理学部フロンティア研究所・准教授)
15:25-16:00	極限環境に挑む次世代接着材料 内藤 昌信(物質・材料研究機構(NIMS) 高分子・バイオ材料研究センター・センター長)
16:00-16:35	易解性接着技術の開発と実用化～電気刺激で接着を制御～ 緒 秀樹(大阪産業技術研究所 和泉センター・主任研究員)
16:35-17:10	可動性薬液による強固で解体可能な接着材料 荒井 隆行(リソテック株式会社 研究開発本部・副部長)
17:10-17:15	閉会挨拶 横山 卓郎(富士フイルム株式会社 解析技術センター・主任研究員)
09:30-09:35	開会挨拶 家 裕隆(大阪大学 産業科学研究所・教授)
09:35-10:10	半導体パッケージ用材料の最前線 山中 公博(大阪大学 産業科学研究所・特任教授)
10:10-10:45	自己組織化リソグラフィの最前線 早川 健雄(東京科学大学 物質理工学院・教授)
10:45-11:20	レジスト材料と溶剤の最新動向 近藤 英雄(株式会社ダイセル スマートSBU・スマートSBU兼務/主任)
11:20-11:55	半導体用CMP材料の最前線 山田 裕也(JSR Electronic Materials Taiwan Co., Ltd CMP materials team・Senior manager)
11:55-12:00	閉会挨拶 蟹江 達也(東北大学 多元物質科学研究所・教授)
13:30-13:35	開会挨拶 山本 政宏(TOTO株式会社 総合研究所・上席研究員)
13:35-14:05	嗅覚受容体解析による新しい香りのデザイン 吉川 敬一(株式会社 感覚科学研究所・特任ディレクター)
14:05-14:35	においを自在に操る技術で医療やエンタメなどの新たな挑戦 藤田 健二(Solfacir Technologies株式会社 代表取締役)
14:35-15:05	堅牢な人工嗅覚材料の学理 柳田 剛(東京大学 大学院工学系研究科・教授)
15:25-15:55	皮膚ガムによるストレス軽減技術 山口 秀明(株式会社アイシン 第1先行開発部・主任)
15:55-16:25	昆虫の嗅覚を活用したにおいバイオセンサの開発とその実用化 神崎 亮平(東京大学・名誉教授・先端科学技術研究センター・シニアリサーチフェロー)
16:25-16:55	においの特徴を画像として捉えるCMOS集積化センサ 野田 俊彦(豊橋技術科学大学 次世代バイオ・材料科学研究所・准教授)
16:55-17:00	閉会挨拶 田中 賢(九州大学 先端物質化学研究所・教授)
09:30-09:35	開会挨拶 藤田 恭子(東京薬科大学 薬学部・准教授)
09:35-10:05	自分の人生を生きていくというこ 玉田 龍(九州大学 先端物質化学研究所・教授/副学長)
10:05-10:30	「ロールモデルはいらない。」～博士のその先、どう自分を決めるか～ 石田 洋平(東京理科大学 大学院都市環境科学研究所・准教授)
10:30-10:55	正解のない時代における材料化学者のキャリア選択 ～やりがいと課題を～ 近藤 慎司(Matiant株式会社)
11:00-11:25	無限PHDサイクルで生きている 山内 裕子(タカラベルモント株式会社 開発本部・グループ長)
11:25-11:55	生体与機との接点に磨きかける「キャリア」を切り開く!という選択～ 齋藤 邦子(KOはオカム株式会社 技術開発センター・マネージャー)
11:55-12:00	閉会挨拶 矢島 知子(お茶の水女子大学 理学部・教授)
13:30-13:35	開会挨拶 沼田 圭司(京都大学 大学院工学研究科・教授) 星野 友(九州大学 大学院工学研究科・教授)
13:35-13:50	マテリアルDX バイオ・高分子拠点 沼田 圭司(京都大学 大学院工学研究科・教授)
13:50-14:05	精密高分子のデータ・進化工学による次世代医療創出 星野 友(九州大学 大学院工学研究科・教授)
14:05-14:30	タンパク質相互作用を阻害する精密高分子医薬の合理的設計 新井 新(東京大学 大学院総合文化研究科・教授)
14:30-14:55	データ不足の壁を乗り越えるSmartRealTimeマテリアルズ 林 彦雄(統計情報研究所 先端データサイエンス研究系・准教授)
14:55-15:20	精密高分子を用いた皮膚治療戦略 小 出 祐(静岡国立大学 薬学部・准教授)
15:30-15:55	マルチオミクスで解明! 利用する生体適合性のプラットフォーム 岡田 寛之(東京大学 大学院医学系研究科・講師)
15:55-16:20	繊維状ウィルスの遺伝子改変を利用したデータ駆動型機能性創出 澤田 敏樹(東京科学大学 生命理工学院・教授)
16:20-16:40	1,000種のクモ糸の配列・物性情報解析に基づく人工クモ糸繊維の物性制御 中村 浩之(Spiber株式会社 Protein Solution Development Division・研究員)
16:50-17:15	ポリマインフォマティクスで加速するサーキュラー高分子材料開発 内藤 昌信(物質・材料研究機構(NIMS) 高分子・バイオ材料研究センター・センター長)
17:15-17:40	電子ラボノートで拓く高分子材料研究の新しいカタチ 藤ヶ谷 剛彦(九州大学 大学院工学研究科・教授)
17:45-17:50	閉会挨拶 秋吉 一成(京都大学 高等研究所・教授)

15:00-15:25	バイオ・低分子医薬品の現地連続製造技術の開発 矢田 隆(産業技術総合研究所 触媒化学研究部門・研究グループ長)
15:25-16:05	ナノ材料技術を駆使した高性能バイオマテリアル・バイオセンサの開発 村 真紀(産業技術総合研究所 材料基礎研究部門・研究グループ長)
16:05-16:30	巨大酵素の精密改変による複合体分子の骨格集積技術の開発 工藤 賢(産業技術総合研究所 細胞分子工学研究部門・主任研究員)
16:30-16:55	未利用バイオマスから創るナノセルロースの機能制御 熊谷 明夫(産業技術総合研究所 機能化学研究部門・主任研究員)
16:55-17:20	バイオプロセスを活用した材料創製・バイオサーファクタントの製造・利用技術の開発一 佐藤 雄(産業技術総合研究所 機能化学研究部門・研究グループ長)
17:20-17:45	閉鎖技術 千歳 靖典(産業技術総合研究所 生産工学領域・専任技長)

10月22日(木)

フェスタ企画…有料

公開企画…無料

※有料・無料に関わらず参加登録が必要です。

	会場	09	10	11	12	13	14	15	16	17	
5F	A会場 [小ホール]	9:30-12:00 研究基盤・先端機器がたぐく地域中核大学の研究基盤強化 ～地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS) が拓く研究の未来～ 本セッションでは、日本学術振興会が実施する地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS)をテーマに、J-PEAKS採択大学が推進する研究基盤強化について紹介いたします。最先端の研究機器や機器利用、研究環境構築、人材の高度化などの観点から各大学が発表を行い、参加者の皆さまとの情報交換や議論を通じて、今後の研究大学群としての発展・連携につなげてまいります。また、学外の他機関や産業界の皆さまへの情報提供も目的としております。				13:30-16:50 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)特別企画: 化学研究を社会実装へつなぐNEDOの役割と支援事業 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の取り組みおよび化学分野における支援事業をご紹介します。あわせて、研究開発成果の社会実装に向けた取り組みや産学官連携事例を紹介し、新たな連携の可能性について議論を深めます。					
4F	B会場 [研修室]										
2F	C会場 [蓬莱]					13:30-17:20 生命のダイナミクスを工学へ ～動的バイオミメティクス材料の最前線～ 生物は、環境に応じて形や機能をしなやかに変えながら生きています。本セッションでは、「生命のダイナミクス」に学ぶ動的バイオミメティクスの考え方や最新研究を紹介し、柔軟で適応性の高い次世代材料や革新的なものづくりへの応用可能性を多角的に探ります。					
2F	D会場 [瑞雲]	9:45-15:45 新しい電池のカギをつかめ！～セカイが広がる新技術～ リチウムイオン電池および次世代蓄電池の未来を切り拓く最先端技術をご紹介します。正極・負極を中心とした材料開発から、ロボット・自動化を活用したハイスループット実験、評価手法、実用化を見据えたリサイクル技術や規制対応、さらに次世代人材育成まで、産学官連携で進む最新動向を幅広く取り扱います。				13:15-13:05 デンカ株式会社ランチタイムセッション ～半導体の進化を支えるデンカの研究開発のご紹介～					
2F	E会場 [平安]	9:30-11:45 π電子たちの大冒険！～ナノカーボンと有機半導体が拓くエレクトロデバイス革新～ 「ナノカーボン」や「有機半導体」は、さまざまな産業分野で幅広い革新をもたらす注目の材料です。本セッションでは、これら先端材料の最新研究を紹介し、医療・エレクトロニクスデバイスの未来を切り拓く新たな可能性を探ります。				13:30-17:20 こんなところにも液晶が！ ～「結晶」と「液体」のあいだに潜む魅惑の新素材～ 液晶は、結晶の秩序性と液体の流動性を併せ持つ物質状態です。ディスプレイへの応用が大大きく発展してきましたが、次世代のエネルギー・環境・バイオ技術に革新をもたらす新素材としても強く期待されています。本セッションでは、液晶素材の最前線を紹介し、分子設計、構造制御、機能創出の最新展開について議論します。					
						13:15-13:05 花王株式会社ランチタイムセッション～見えぬリスクを解き明かし、未来の社会を支える安全性科学研究～					
2F	F会場 [福寿]	9:30-12:00 バイオ×ケミストリーが拓く次世代ものづくり～バイオのチカラによる化学製品製造の最前線を追う～ バイオのチカラを利用した化学製品製造においては、その基礎となるプラットフォーム技術の構築およびエネルギー消費の少ない製造技術で価値のある化学製品を作ることが重要です。高機能な素材をリソースフルなコストで作上げることが目指してきたプラットフォーム技術を中心に化学の観点からわかりやすく紹介します。				13:30-16:45 パワーデバイス材料の最前線 ～高効率システムを支えるテクノロジー～ パワーデバイスはEVや再生可能エネルギーの高効率化の要です。本セッションでは、SiCやGaNをはじめとするワイドバンドギャップ半導体材料から、実装・封止までを産学官の視点で整理し、エネルギーの高効率化を支える最新材料技術と社会実装の展望を紹介いたします。					
2F	G会場 [桃源]	9:30-11:50 化学のプレゼンに役立つKNOW-HOW 自分の研究成果を正しく評価してもらうためには、高度な内容でも分かりやすく、広く発信することが重要です。本セッションでは、より分かりやすいグラフの使い方やスライド構成など、プレゼンテーションを魅力的にする方法に加え、国内外での発表を視野に入れた研究成果の発信方法や、論文執筆の方法について紹介します。				13:30-16:45 はじめてみようデータ駆動型の研究 近い将来、実験器具や解析装置が使いこなせることに加え、データや人工知能(AI)を活用することも当たり前という時代がやってくるかもしれません。本セッションでは、学生に開きやすき基礎を知りたい皆様に、データ駆動型研究の基本と各分野での具体的な活用方法について紹介します。					
1F	産学官R&D 展示会場 [展示ホール]	10:00-18:00 産学官R&D紹介企画・展示ブース・ 企業や研究機関がポスターや製品サンプル・モデルの展示などで研究開発アクティビティを個性豊かに紹介します。 旭化成(株)、大塚有精化学工業(株)、花王(株)、(株)ADEKA、(株)沼田化学研究所、(株)クラレ、(株)クレハ、(株)島津製作所、(株)豊田中央研究所、(株)日本能率、JSR(株)、四国化成工業(株)、住友ベークライト(株)、田明化学(株)、DIC(株)、帝人(株)、デンカ(株)、東亜合成(株)、東ソー(株)、東洋紡(株)、東レ(株)、日理エニール(株)、日産化学(株)、日本ゼンセン(株)、北興化学工業(株)、三井化学(株)、三菱化学(株)、三菱ケミカル(株)、文部科学省 マテリアル先端リサーチセンター、UBE(株)、ライオン(株)									
		10:00-12:00 学生ポスター発表:P7 無機化学・無機化学・分析化学[001-024]、 有機化学[025-044]、天然物化学・生体機能 関連化学・バイオテクノロジー[045-063]、 高分子化学[064-083]、材料化学[084- 107]			13:30-15:30 学生ポスター発表:P8 物理化学[001-014]、無機化学・無機化学・分 析化学[015-034]、有機化学[035-064]、 無機化学・生体機能関連化学[065-084]、材料化学 [085-106]			16:00-18:00 学生ポスター発表:P9 物理化学[001-015]、無機化学・無機化学・分 析化学[016-035]、有機化学[036-065]、 天然物化学・生体機能関連化学・バイオテクノ ロジー[066-085]、高分子化学[086-107]			
	ポスター 会場	09	10	11	12	13	14	15	16	17	

09:30-09:35	開会挨拶 仁科 勇太(岡山大学 学術研究院先端研究領域・教授)
09:35-10:05	信大J-PEAKSが主導する最先端機器材料創製～アクロジック～AI・ロボティクス×人材育成～手嶋 勝弥(信州大学 アクアリジェネレーション機構・教授)
10:05-10:35	金沢大学 学芸部による研究基盤創成プラットフォーム 長谷川 浩(金沢大学 理工研究域物質化学系・教授/副理事(サイエンス・コミュニケーション))
10:35-11:05	千葉大学における研究基盤の共有推進 村 雅雄(千葉大学 研究基盤管理機構・機構長補佐)
11:05-11:35	所有から共有へ:コアファシリティを中核とした研究・イノベーションの創出強化 佐藤 法(岡山大学 副理事(研究・産学共創推進担当)/副学長(学事担当)、上級URA)
11:35-11:40	開会挨拶 加藤 隆史(信州大学 アクアリジェネレーション機構・特任教授/岡山大学 学術研究院先端研究領域・特任教授/東京大学・名誉教授)
11:40-12:00	個別相談会
13:30-13:35	開会挨拶 石渡 拓己(新エネルギー・産業技術総合開発機構 バイオ・材料部・主査)
13:35-14:05	NEDOの取り組み紹介 ヨーノ宮 崇(新エネルギー・産業技術総合開発機構 バイオ・材料部・チーム長)
14:05-14:35	機能性化学品の連続精密生産プロセス技術の開発 小野澤 俊也(産業技術総合研究所 熱媒化学研究部門・主任研究員)
14:35-15:05	化粧品産業の未来を切り拓くNEDO懸賞事業 太田 祐之(合同会社プロトマツ CB&T・パートナー・執行役員)
15:15-15:45	有機ケイ素先端材料の開発および将来展望 五十嵐 正安(産業技術総合研究所 熱媒化学研究部門・上級主任研究員)
15:45-16:15	次世代セラミックスの開発プラットフォームの構築 木村 祐一(一般財団法人ファインセラミックスセンター 材料技術研究所・グループ長)
16:15-16:45	次世代高速通信の省エネ化に資する材料開発 三村 真一(産業技術総合研究所 マルチマテリアル研究部門・グループ長)
16:45-16:50	開会挨拶 金子 和生(新エネルギー・産業技術総合開発機構 バイオ・材料部・部長)
13:30-13:35	開会挨拶 桑折 道清(千葉大学 大学院工学研究科・教授)
13:35-14:10	生体分子の自己組織化と配向制御で実現する次世代機能材料 佐野 航幸(信州大学 繊維学部・准教授)
14:10-14:45	生体表面に吸着したナノ粒子の動的なミクス・接着・剥離 藤井 隆彰(東京理科大学 先進工学部・教授)
14:50-15:25	電場駆動した生体分子の動的なミクス・接着・剥離 藤井 隆彰(東京理科大学 先進工学部・教授)
15:25-16:00	生体分子の動的なミクス・接着・剥離 藤井 隆彰(東京理科大学 先進工学部・教授)
16:05-16:40	生体の近表面特性に着目した細胞付着材料の開発 大内 元(京浜東北マリン株式会社 研究開発部・研究員)
16:40-17:15	生体分子の動的なミクス・接着・剥離 藤井 隆彰(東京理科大学 先進工学部・教授)
17:15-17:20	開会挨拶 若林 里衣(九州大学 大学院工学研究科・准教授)
09:45-09:50	開会挨拶 小林 弘明(東京大学 大学院工学系研究科・准教授)
09:50-10:20	電池材料教育は全国規模へ 鈴木 一裕(一般社団法人電池サプライチェーン協議会 事務局・事務局長)
10:20-10:50	電池の評価技術 高森 圭(沖電気工業株式会社 バイオ・材料部・主任研究員)
11:00-11:30	安全な電池リサイクルを実現する電池不活性化技術 三木田 梨歩(株式会社豊田中央研究所 二次電池研究領域)
11:30-12:00	AI・ロボット実装技術を活用した蓄電池材料開発 松田 瑞一(物質・材料研究機構(NIMS) エネルギー・環境材料研究センター・チームリーダー)
12:00-12:30	異常高圧下での化学とエネルギー材料への応用 島川 祐一(京都大学 化学研究所・教授/所長)
13:30-14:00	レオ・インピーダンスによるスラリー評価技術 山崎 義文(株式会社アインバー・ジャパン ビジネスユニットキャラクタリゼーション)
14:00-14:30	重アルカリ金属イオンを用いた金属空気電池の検討 多々良 涼一(横浜国立大学 大学院工学研究科・准教授)
14:30-15:00	ナトリウムイオン電池負極の高性能化から見える材料設計指針 薄井 洋行(鳥取大学 工学部・教授)
15:00-15:45	開会挨拶 夏原 正仁(株式会社島津製作所 産学官連携推進ユニット・特任部長)
09:30-09:35	開会挨拶 藤上 康太郎(帝人株式会社 コーポレート新事業部門・担当部長)
09:35-10:05	自由自在に変形する「液体エレクトロニクス」～世界初の液体エレクトロニクスが拓く新機能材料の未来～ 中西 尚志(物質・材料研究機構(NIMS) ナノアーキテクトニクス材料研究センター・グループリーダー)
10:05-10:35	おむつ内センサーが拓く拡張現実技術～排泄検知から予測システムへの展開～ 堀井 新司(東レ株式会社 先端材料研究所・シニアリサーチ・マネージャー)
10:40-11:10	カーボンナノチューブがひらいた未来～分子設計から燃料電池・バイオ応用まで～ 藤ヶ谷 剛彦(九州大学 大学院工学研究科・教授)
11:10-11:40	分子の動きを止めて加速せよ！究極の有機半導体が拓く超高速デバイスの未来～ 竹谷 純一(東京大学 大学院新領域創成科学研究科・教授)
11:40-11:45	開会挨拶 岡本 敏宏(東京科学大学 物質理工学工学部・教授)
13:30-13:35	開会挨拶 一川 尚広(東京農工大学 工学研究科・教授)
13:35-14:00	サステナブル界面活性剤/バイオOS-洗浄剤にも液晶～ 坂井 隆也(花王株式会社 研究開発部門・フェロー)
14:00-14:25	超超薄膜ラミネートを反応場とした無機・有機ナノシート合成～反応場にも液晶～ 内田 幸明(大阪大学 大学院基礎工学研究科・准教授)
14:25-14:50	単分散ナノシートが形成する液晶～無機物でも液晶～ 宮元 展義(福岡工業大学 工学部・准教授)
15:00-15:25	動的らせん構造を活かした円偏光発光デバイスの開発～発光制御にも液晶～ 今井 真風(近畿大学 理工学部・教授)
15:25-15:50	光駆動型の高分子アクチュエーター～人筋肉にも液晶～ 宇部 達(静岡大学 工学部・准教授)
15:50-16:15	羽ばたき分子を用いたライトミメティック型接着剤～接着剤にも液晶～ 齊藤 尚平(大阪大学 大学院理学院研究科・教授)
16:15-16:50	強誘電性ナノチューブ液晶を利用した強誘電性モーターの開発～モーターにも液晶～ 西村 涼一(東京科学大学 特任教授)
16:50-17:15	極性液晶に関する分子シミュレーション最前線～計算科学にも液晶～ 渡辺 豪(北里大学 未来工学部・教授)
17:15-17:20	開会挨拶 長瀬 康雄(室蘭工業大学 大学院工学研究科・准教授)
09:30-09:35	開会挨拶 谷口 信志(東洋紡株式会社 コーポレート研究所・リーダー)
09:35-10:10	【基調講演】バイオ×ケミストリーものづくりの最先端と化学製品製造に向けた課題 乾 将行(公益財団法人地球環境産業技術研究機構 バイオ研究グループ・グループリーダー、主席研究員/奈良先端科学技術大学院大学・客員教授/グリーンケミカル株式会社・取締役技術部長/東京農工大学・客員教授)
10:10-10:40	業績・業界を超えて共に創る。課題「光合成」による次世代バイオものづくり 堀口 和真(株式会社ちとせ研究所 Tech&Biz Development Div.・Researcher)
10:55-11:25	CO ₂ を化学品へ変えるバイオものづくり 村瀬 大輔(株式会社CO2資源化研究所・研究員)
11:25-11:55	化学×微生物で拓くCO ₂ 資源化・高効率化と選択的生産の融合プロセス 加藤 創一郎(東京大学 大学院農学生命科学研究科・教授)
11:55-12:00	開会挨拶 平井 邦博(味の素株式会社 マテリアル&テクノロジーソリューションズ研究所・グループ長)
13:30-13:35	開会挨拶 大津 理人(DIC株式会社 アドバンスドマテリアル開発センター・マネジャー)
13:35-14:10	高機能GaNデバイスの技術動向 加地 徹(名古屋大学 未来材料・システム研究所・特任教授)
14:10-14:45	低圧結晶成長技術が拓く未来エレクトロニクスの世界 藤岡 洋(東京大学 生産技術研究所・教授)
14:45-15:20	超高性能SiC結晶成長技術の開発 宇田 徹(名古屋大学 未来材料・システム研究所・教授 株式会社UJ-Crystal・代表取締役)
15:30-16:05	RF/HVパワーデバイスの高性能化を支える熱伝導材料 柳生 栄治(三菱電機株式会社 先端技術総合研究所・Senior Expert)
16:05-16:40	封止・接着で守る「パワーデバイス」の高効率システム 野村 和宏(NBリサーチ・代表)
16:40-16:45	開会挨拶 山口 和也(東京大学 大学院工学研究科・教授)
09:30-09:35	開会挨拶 廣原 志保(沖縄工業高等専門学校 生物資源工学科・教授)
09:35-10:05	企業における研究評価や投資判断につながるスライド設計 萩谷 祐一郎(AGC株式会社 先端基盤研究所・シニアマネージャー)
10:05-10:35	体験して上達するフーズ技術 三輪 佳宏(理化学研究所 バイオリソース研究センター・室長/筑波大学 グローバル教育院・教授)
10:45-11:15	英語・化学者の視点から イタリアの「ジョーゼット」(公益財団法人日本化学会 学術情報部・Journal Promoter)
11:15-11:45	Finding your voice～自分らしい「ジョーゼット」を使って英語論文を書く～ トマス モーガン・レスリー(慶應義塾大学 大学院理工学研究科・特任准教授)
11:45-11:50	開会挨拶 池田 将(岐阜大学 工学部・教授)
13:30-13:35	開会挨拶 結城 佑哉(慶應義塾大学 理工学部・教授)
13:35-14:10	入門編～マテリアルズ・インフォマティクスとは～ 畑中 美穂(慶應義塾大学 理工学部・教授/分子科学研究所・教授(クロスアポイントメント))
14:10-14:45	有機材料・計算科学～化学とデータ科学の出会い～ 加藤 幸一郎(九州大学 大学院工学研究科・教授)
14:45-15:30	無機材料・物性編～自律材料探索とそのネットワーク～ 岩崎 悠真(物質・材料研究機構(NIMS) マテリアル基礎研究センター・主幹研究員)
15:30-16:05	バイオ・高分子・解析編～くわくくわく実験データを生かす材料研究に役立つ～ 比佐 裕理(物質・材料研究機構(NIMS) 高分子・バイオ材料研究センター・主任研究員)
16:05-16:40	有機化学・合成編～材料研究機構(NIMS) 高分子・バイオ材料研究センター・主任研究員
16:40-16:45	山口 迅(理化学研究所 環境資源科学研究所・客員研究員)
16:40-16:45	開会挨拶 結城 佑哉(慶應義塾大学 理工学部・教授)